

# 6年生学芸会台本

## 「時をかける少年」

名前

学芸会配役

未来人（ ）※ナレーターのような存在です。1回のセリフが多い！

まこと（ ）主人公 ※セリフ多いです。アドリブも加えよう。

村田（ ）親友 優しいキャラクターです。

星野（ ）クラスのボス的存在 悪者になりきってもらいます

上原（ ）クラスメート 途中で心変わりするかも

吉野（ ）クラスメート 同じく！

教師（ ）できれば未来人々。

まこと母（ ）ほんの一瞬

まこと父（ ）ほんの一瞬

未来人「はじめまして、私は、遠い遠いはるか先の未来からきた  
ものです。私はとんでもないものを開発してしまいまし  
た。それは、これ、時間を操るリモコン……  
しかし、これはまだまだ試作品。それに時間をあやつる  
なんてとんでもないことです。未来で使えば大罪に。だ  
からこうして過去に来て、この世界の人間で実験をして  
みようと考えています。さてさて……どの人間で実  
験してみようか……。」

全員 「バッチこーい」「バッチこーい」

効果 カキーン

上原 「ライトー！」

まこと 「え！」

星野 「落としたり承知しねえぞ！」

まこと 「ひいひい！……うわあああ。」

吉野 「なにやってんだよ！バックホーム！」

まこと 「うん、えっと……あ！」

吉野 「ちよ、どこ投げてんだよ！ああ、とれない。」

星野 「あくあ、ゲームセットだ、負けちゃったよ……。」

スポット

フットライト

(不気味に)

全ライト

暗転

上原 「おいまこと、今日の試合負けたの、お前のせいだからな」

吉野 「どうしてくれんだよ。」

まこと 「……………」

吉野 「だまっててわかるわけないだろ?」

星野 「おいまことくん、ただでさえ、うちのチーム

に入れてあげてるんだ。なんとか言ったら……」

星野 「あれ、こいつ、泣いてない?」

上原 「本当だ、泣いてるよ」

まこと 「な、泣いてなんかないよ。」

星野 「うん、これ完全に泣いているな、はい、なーきむし、

はい、なーきむし。」

3人 「なーきむし、なーきむし。」

まこと 「う、うるさい」

星野 「おっと、この、泣き虫め!」

3人 「あはははははは」

村田 「まこと・大丈夫か」

まこと 「う、うるさいな!ほっといてくれよ」

村田 「で、でも……」

まこと 「うるさいってい言ってんだろ!

こいつのなんていうか知ってる?おせっかいって

夕暮れっぽい  
ライトアップ

暗転

全ライト

いうんだよ！」

村田 「なんだよ、それ、あんまりだよ！」

未来人「さてさて、いいやつがいたぞ・・・

運動も、勉強もできない。おまけに根性もない。

まさに適役だな！あいつにリモコンを渡そう」

暗転  
スポット  
未来人へ  
全ライト

録音ま 僕はサイテーだ。野球はできない、勉強はできない

おまけに、やさしくしてくれた村田君にまでやつあたり・・・。

まこと「いてっ。まったく！何だよ！僕が何をしたってんだ！」

「あれ？なんだ、これ・・・リモコンみたいな・・・ちょっと違うような・・・」

村田 「まこと、あぶない！」

効果音 キキー！

まこと「うわああ！」

暗転

録音ま 僕は死ぬんだ、そう感じた。あんまりぱっとしない

人生だったな。最後までそうかよ。僕ってサイテーだ。

全ライト

まこと「あ、あれ、生きてる、どうなってるんだ？」

まこと「車、止まっている」

まこと「あれ村田君も止まっている、はは、悪い冗談はやめてくれよ。」

まこと「冗談じゃ・・・ない？」

まこと「止まっている、何もかも、止まっている。」

まこと「そっだ、リモコン。」

まこと「・・・まさか・・・ねえ。」

まこと「再生！っ」と

村田「うわあああああああああああああああああ？」

村田「あれ？いない、おかしいな。さっきまであそこに」

村田「あれ？いつの間に？」

二人で「えええ」※このええは違う意味である。

録音ま 僕は、魔法のリモコンを手に入れた。

この日から、僕の人生は180度チェンジしたんだ！

まこと「みなさん、おはようございます」

上原「なんだあいつ、みようにテンション高くねえか？」

吉野「なんか気味悪う。」

暗転

舞台チェンジ  
全ライト

星野 「よし、お仕置きだ、なあ、からかってやるっぜ。」

上吉2 「いいねえ〜」

星野 「よう、まことくん。」

上吉2 「まことくん」

まこと 「停止！」※この時音楽も止まると効果的！

まこと 「再生！」

上原 「あ、あれ、消えた？」

吉野 「ど、どこいった！」

まこと 「やあみなさん、おはようございます。」

上吉2 「あ、あれ〜？」

星野 「ち、あいつ、ふざけやがって！」

効果音 チャイムの音

録音ま そう、このリモコンがあれば、時間を止めることが

できるんだ。これで僕はどこへでも瞬間移動できる

効果音 チャイム

村田 「着せーき。」「これから一時間目の授業を始めます。」

全員 「はじめます。」

先生 「はい、教科書とノートをひらいてね。もう君たちは  
6年生だ。この算数もそろそろ難しくなってくるか

暗転

全ライト

らな。覚悟しておけよー！」

全員 「うえええ」

先生 「(永遠に難しい問題を説明し続ける)」

録音ま あくあ、つまらないなあ。どうしてこんな難しいこ  
と勉強しなくちゃいけないんだろう。

あ、そつだ。このリモコン、停止以外にも使い道、  
ないかな？

早送りなんて使ったらどうなるんだろう？

早送りっえいっつと。

先生 「どっりろとりいろとりいろとりいろ@@@@@」

録音ま す、すげえ、あつという間につまらない授業がすす  
んでいく。そろそろかな？再生つと

先生 「はい、今日はここまでです。」

効果音 チャイム

村田 「きょうつけ、これで1時間目の授業を終わります」

全員 「終わります。」

録音ま なるほど、こついう使い方もあるんだ。しめしめ

効果音 チャイム

先生 「はい、それでは、幕末の時代において、坂本竜馬

暗転

全ライト

が行ったことはなんだ。上原、わかるか？」

上原 「・・・わかりません。」

先生 「だれか、わかるやつはいないか？」

全員 シーン

先生 「質問が難しかったかな。坂本竜馬は長州藩の木戸孝義、薩摩藩の西郷隆盛らに手を組ませて、徳川幕府を終わらせて、朝廷に政権を返そうと働いた人なんだ。これを薩長同盟というんだ。」

まこと 「はい、先生。」

先生 「どうしたまこと」

まこと 「巻き戻し！えいっ」

先生 「はい、それでは、幕末の時代において、坂本竜馬が行ったことはなんだ。上原、わかるか？」

上原 「・・・わかりません。」

先生 「だれか、わかるやつはいないか？」

まこと 「はい！」

先生 「おお、まことが手を上げるなんて珍しいな。」

まこと 「はい、坂本竜馬は長州藩の木戸孝義、薩摩藩の西郷隆盛らに手を組ませて、徳川幕府を終わらせて、朝廷に政権を返そうと働いた人です。これを薩長同盟といいます。」

先生 「完璧だ。おどろいた。先生の答えとまったく一緒だよ。」  
クラス 「すごいな」と全体的につぶやく

※星野拍手をしながら立ち上がる

星野 「まこと君、すごいね〜すごいすごい！いやあびっくりしたよ。運動は苦手でも。勉強はできるんだね。先生、人間にはひとつはいいところがあるもんなんですわねえ。」

上吉2 「はははは」

録音ま この日から、僕はクラスの秀才となった

先生の問題に全部答え、テストは全部満点。完璧だ。でも星野のやつ、僕のことをバカにしゃがって。後は運動か。さくて、どうやって活躍してやろうか。

※まことが歩いていると上原・吉野からんでくる

上原 「よう、まことくん」

吉野 「野球しないかい？」

まこと 「うん！いいよ。」

上原 「あれ？調子狂うな、いつもなら嫌がるのに。お前、最近なんだか調子いいな。いったい何があったんだよ。」

吉野 「たまたまたまたま。さ、まこと君、いこっか？」

暗転

全ライト

上原 「そろそろ、今日のピッチャーは星野だよ。本気で  
前のこと、倒そうとしていたよ。あいつ、コント  
ール悪い割には球速いから、気をつけるんだな。」

上吉 「あはははは。」※立ち去る

村田 「おい、まこと。星野、公園で本気で投げてたぜ。悪  
いことは言わない。今日はいかない方がいいよ。」

まこと 「ありがとう、村田君、でも今の僕はなんだか負ける  
気がしないんだ。」

村田 「なんだよそれ、なんか今日のまこと、いつものまこ  
とと全然別人だよ。どうしちゃったんだよ。」

まこと 「まあ、見ててよ！」

星野 「よう、まこと、今日は自分からきたのかよ。てつき  
り怖くなって逃げてかえったかと思ったのに。  
まあいいや、俺の球を打てるものなら打ってみな。  
打てなかったら、明日からまたバカにしてやるよ。」

まこと 「停止」

まこと 「……あはははは。ボールが止まってら。これな  
ら僕にだって打てる。」

暗転

全ライト

まこと「再生！」

効果音 カキーン

上原 「打ったよ。あいつ、星野の球を打ったよ。」

吉野 「すごい！」

星野 「ま、まぐれだよ。まぐれ。もう一球だまこと」

まこと「いいよ、こいよ」

まこと「停止」

まこと「再生」

効果音 カキーン

星野 「ただだ〜！」

効果音 カキーン カキーン カキーン カキーン

上吉2「ポカーン」

星野 「くそー。どうしてだよ、どうして私の球が

全部打てるんだよ。」

まこと「あはははは、僕に打てないたまなど、ない！」

※この間に星野は空手道着（黒帯）に素早く着替える

村田 「いやあ、それにしても今日のまこと、すごかったね。」

まこと「そっ?」

村田 「すごいよ、本当に、勉強もできるし、運動もできるし

暗転

全ライト

野球なんてあの星野からヒットをバンバン打って。

あの星野の顔したら、すごく面白かったよ。」

まこと「まぐれまぐれ。まぐれだよ。」

村田「いいなあ。おれもお前みたいになり・・・あ、星野。」

上原「よう、まこと。お前、完全に星野をおこらせたみたい

だけ。」

吉野「おおこわい、こわい。」

星野「おう、まこと、私と1対1で勝負しな。」

上原「はは、さすがにこれは断るか。」

まこと「うん、いいよー！」

村田「やめとけよ、まこと、いくらお前でも無理だって。

星野は全国空手チャンピオンだぞ。」

まこと「大丈夫だって、僕の辞書に不可能という文字はない」

村田「ナポレオンじゃないんだから・・・」

星野「ち、お前むかつくんだよ。」

さあ、まこと、かかってこい！」

※重苦しい決闘の音楽

じりじり星野に近づくと、まこと

星野の素早いつき

星野「えいー！」

※すばやくしゃがんで、

まこと「停止！」

※あとは何発も星野に連づきをして最後の1発を入れた後に

まこと「再生！」

星野 「うわっ」

※かなり後ろに吹っ飛ぶ

上原 「うそだろ、あの星野が一発で……」

吉野 「1発でやられるなんて……」

星野 「くそっ……私の負けだ、まこと悪かった。もう

悪さはしないよ。」

走り去る3人

録音ま このうわさは広まり僕は、一躍クラスの人気者に

なった。サイテーだった、僕の人生はこのリモコ

ンのおかげでかなりナイスなものになったんだ。

僕に不可能はない！

未来人「おやおや、まこと君、あのリモコンでかなり楽しん

でいるようですね。

でもでも、忘れてもらっちゃ困ります。

あのリモコンはまだ未完成なんですよ……

それに、未来や過去をぐちゃぐちゃと変えてしまつて

暗転

スポットのみ

未来人へ

は、いつかとんでもないことになるかもしれない。

むてむて、どうなることやら」

暗転

全ライト

まこと「ただいま〜」

母「あらおかえりなさい。」

父「お、まこと、おかえり、こんばんはすき焼きだぞ！」

まこと「やった、いただきます〜す。」

母「やだ、まことったら、肉ばかり食べないでよ。」

父「そうだぞ、まこと、野菜も食べなさい。」

まこと「わかってるよ、後でたくさん食べるから」

母「あくあ、肉ばかり・・・」

まこと「はい、今から野菜をたべま〜せん！巻き戻し！」

父「お、まこと、おかえり、今夜はすき焼きだぞ！」

まこと「やった、いただきます〜す。」

母「やだ、まことったら、肉ばかり食べないでよ。」

まこと「はいはい、巻き戻し」

父「お、まこと、おかえり、今夜はすき焼きだぞ。」

まこと「うっふ、いただきます〜す。」

まこと「はあくおなかいっぱい。ごちそうさま」

※食卓のとなりはベッド そこへ移動する

まこと寝ながら

録音ま はあくおなかいっぱい、しあわせだ〜

すべてはこのリモコンのおかげ。

あれ？後ろになんか、ふたみたいなのが書いてある。

開けてみるか、

あれ、なんか、モニターみたいなところに書いてある

残り7？なんだ？そりゃ？まさか、残り使える回数じ

ゃないだろうな・・・ま、気にしない、気にしない

効果音 チャイム

先生 「よし、これから塩酸の中に鉄を入れるからな。塩酸は

皮膚を腐らせてしまうから、扱いには絶対に注意をは

うこと、いいな。」

全員 「はい。」

村田 「まこと、じゃあ塩酸の実験は任せた。」

まこと 「おう、任せとけ。」

上原 「おっととと・・・危ない！」

まこと 「あ、あつー！」

村田 「おい、まこと大丈夫か、うわ、ひどいやけどだ。

今、先生呼ぶからな。」

まこと 「大丈夫、大丈夫、巻き戻しつとえい！再生、つと」

暗転

舞台チェンジ

全ライト

村田 「まこと、じゃあ塩酸の実験は任せた！」

まこと 「いや、これは上原君に任せてもいいかな？」

上原 「ああ、いいよ。」

吉野 「おっとと・・・危ない！」

上原 「あ、あつ！」

まこと 「ええ？」

村田 「おい、上原大丈夫か、うわ、ひどいやけどだ。

今、先生呼ぶからな。」

上原 「まこと、お前が変わってなんて言うから・・・」

まこと 「大丈夫、俺がなんとかするから」

上原 「なんとかかって？」

まこと 「なんとかだよ！えい、巻き戻し！再生つと」

村田 「まこと、塩酸の実験は任せた！」

まこと 「おお、いいよ。ただ、上原、俺には近づくなよ。」

上原 「ええ、なんでだよ。」

まこと 「何でもだ！」

まこと 「おっとと・・・あ危ない！」

村田 「あつ！」

上原 「おい、村田大丈夫か、うわ、ひどいやけどだ。

今、先生呼ぶからな。」

録音ま なんでだ、なんでこうなっちゃうんだ。そうだ。もっ



今そっちいくから、まってる！」

効果音 キキー！

まこと「あー村田君、来るな！あぶない！！」

効果音 ドン！

まこと「む、村田君！村田君！うそだろ？くそ、待ってる」

まこと「巻き戻し！」

※村田起き上がりバックで去っていく。

まこと「ふう・・・これで一件落着！これくらいでいいか

な、再生つと」

まこと「あれ？止まらない 再生つと」

まこと「なんで？なんで止まらないの？あ。裏！」

まこと「残り0、まさか、うそだろ、再生！再生！」

まこと「止まらないよ〜」。

まこと「あれ、気のせいかな？体が小さくなってきたような

まこと「もしかして、このまま、僕は消えてしまうの？

そんなのやだ！そんなのやだ！誰か助けてくれ〜！」

音響 パニックの音楽

効果音 ピッピッ

まこと「・・・あれ？元に戻った。」

未来人「まったくあなたには困ったものだ」

まこと「あなたは？」

暗転すぐに

まことにスポ

ットライト

未来人「そのリモコンの持ち主と言えばよいでしょうか。」

未来人「何でもかんでもやり直しがきくようになると人間

ってのはとんでもなくくだらない行動にでるんで

すね。あなたを見ていて感じました。このリモコ

ンは作られるべきではなかった。すぐに処分します。」

未来人「本当はこのことを知ってしまったあなたをそのままに

しておくことはできません。でも、最後にいいことを

しました。だから助けます。」

未来人「リモコンを拾う前の状態に戻します。これにこりたら

リモコンなどに頼らずに、失敗をおそれず、たくまし

く生きてください。それでは、再生！」

暗転

※全員出てくる

全ライト

A「みなさんは、もう一度やり直せたら今度は成功するのにな  
と感じたことはありませんか？」

B「でも、やり直せないからこそ、その失敗をいかして  
この次はと、頑張ることが可能です。」

C「この劇の主人公は、みんなの心の中にもいるかもし  
れません。」

D「どんなことが起ころうと、それを認め、受け入れて  
いく心を持って」

E「たくましく生きていくことは大切です。」

F「これで6年生の劇を終わります。気をつけ、礼！」

ブザー

閉幕

必要なもの

空手着

野球の衣装（早着替えできるならば）

お父さんっぽい衣装

お母さんっぽい衣装

未来人っぽい衣装

すきやきのセット

テーブル

簡易ベッド

机5客

先生っぽい衣装

試験管などの理科の実験に必要なキット

給食の配膳台（理科の実験用に）

バット

野球の球が空中で止まるような装置（できなければ演技で）